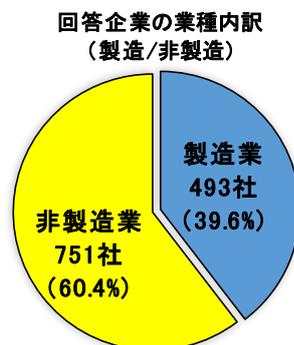


「川崎市内企業の海外展開に関するアンケート調査」結果報告書 (概要版)

1 アンケート調査の概要

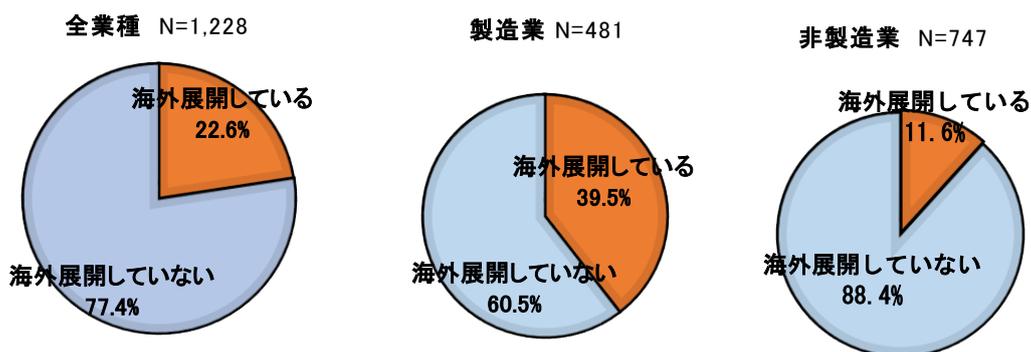
送付社数：5,621社
 回答数：1,338社 (回答率：23.8%)
 有効回答数：1,244社
 うち中小企業の有効回答数：1,228社



2 市内中小企業の海外展開の状況

(1) 現在の海外展開の状況

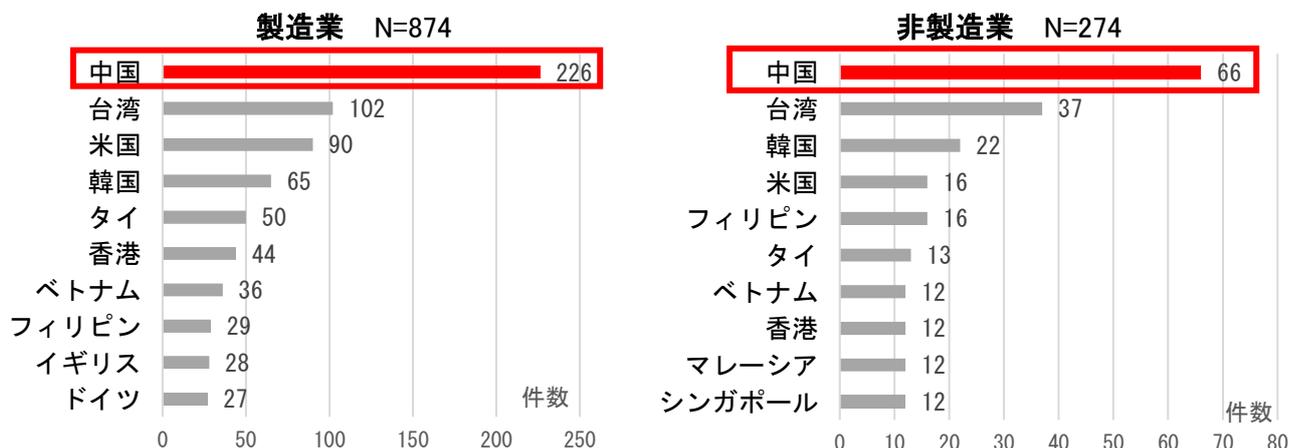
- 現在の海外展開の状況について、「海外展開している」と回答した企業の割合は全体の22.6%、「海外展開していない」と回答した企業は77.4%でした。
- 業種別の内訳を見ると、製造業は「海外展開している」企業の割合が、非製造業よりも高くなっています。



(2) 「海外展開している企業」の状況

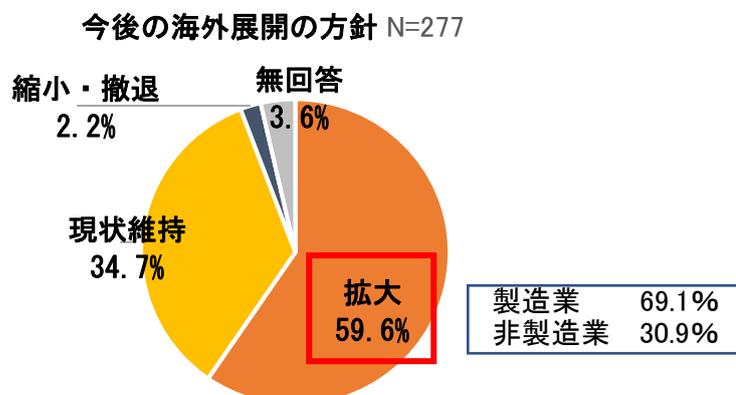
ア 海外展開している国・地域

- 海外展開している国・地域は「中国」が最も多く、製造業・非製造業ともに「台湾」「米国」「韓国」が上位に位置しています。



イ 今後の海外展開の方針

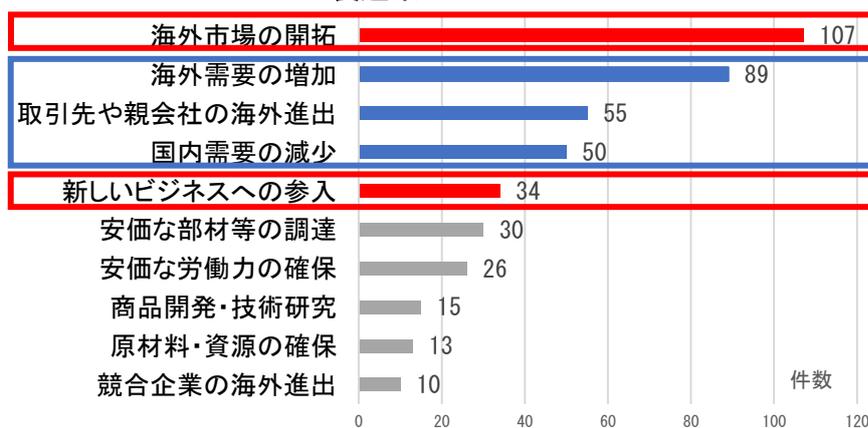
- ・今後の海外展開の方針は「拡大」が 59.6%、「拡大」と回答した企業の内訳は製造業 69.1%、非製造業 30.9%でした。



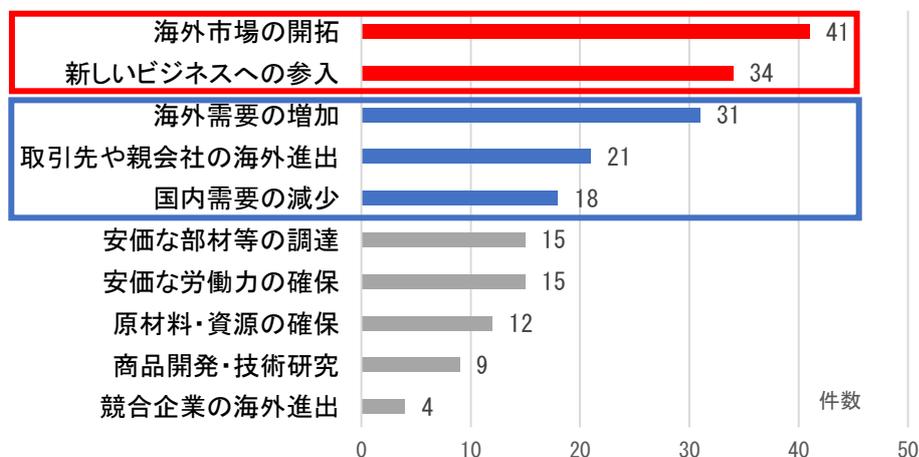
ウ 海外展開している理由

- ・海外展開している理由について、製造業では「海外需要の増加」「取引先や親会社の海外進出」「国内需要の減少」などの外的要因が比較的上位に位置しているのに対して、非製造業は「新しいビジネスへの参入」が上位に位置しており、海外展開により能動的に取り組んでいる企業が多くなっています。

製造業 N=445



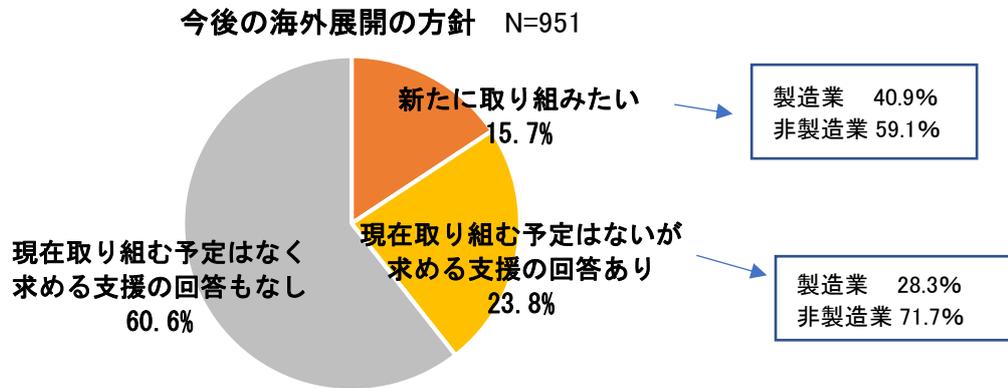
非製造業 N=203



(3) 「海外展開していない企業」の状況

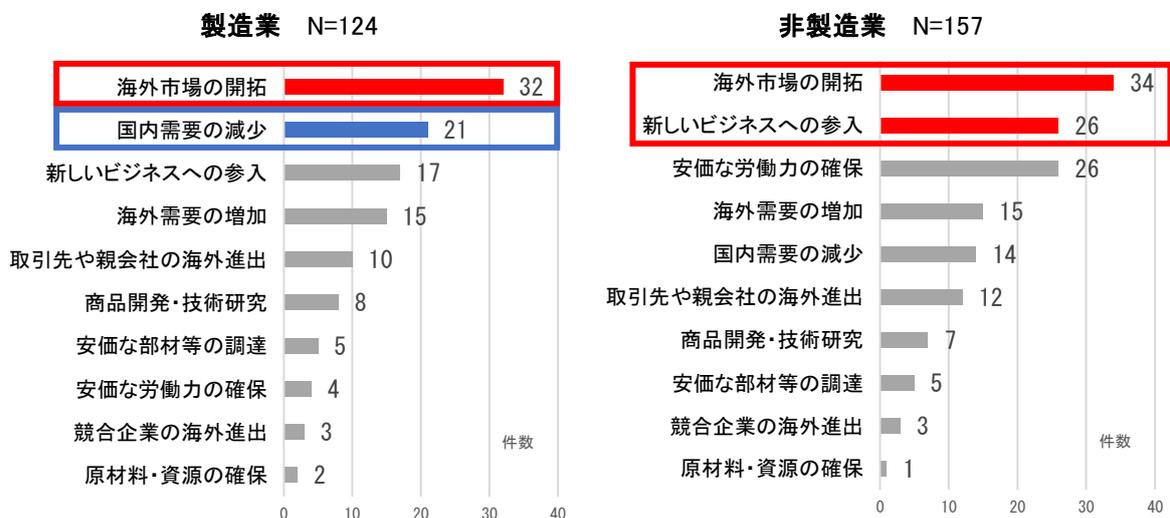
ア 今後の海外展開の方針

- 海外展開していない企業に今後の海外展開の方針を尋ねたところ、海外展開に「新たに取り組みたい」と答えた企業は15.7%で、そのうち非製造業は59.1%と割合が高くなっています。



イ 新たに取り組みたい理由

- 新たに取り組みたい理由について、製造業では「国内需要の減少」が上位に位置しており、国内での受注減少の影響を受けていることがうかがえます。
- 非製造業では「新しいビジネスへの参入」が上位に位置しており、海外展開により能動的に取り組んでみたいという企業が多くなっています。

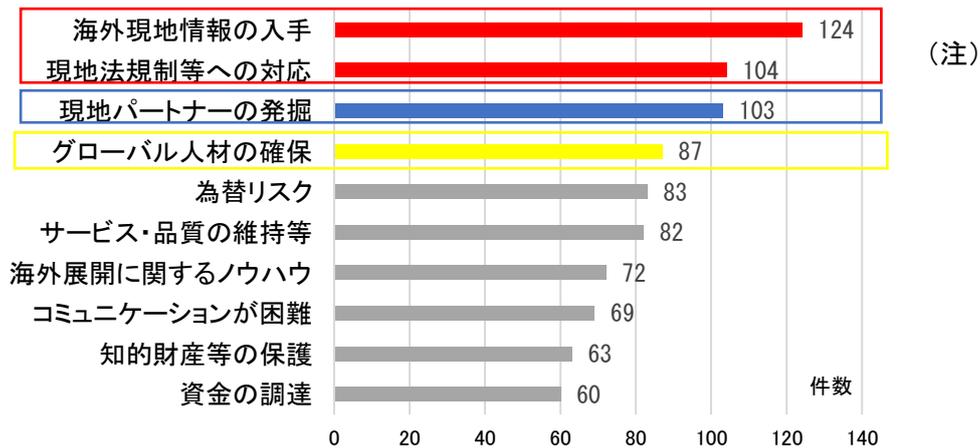


3 海外展開において市内中小企業が求めている支援等

(1) 「海外展開している企業」が求めている支援等

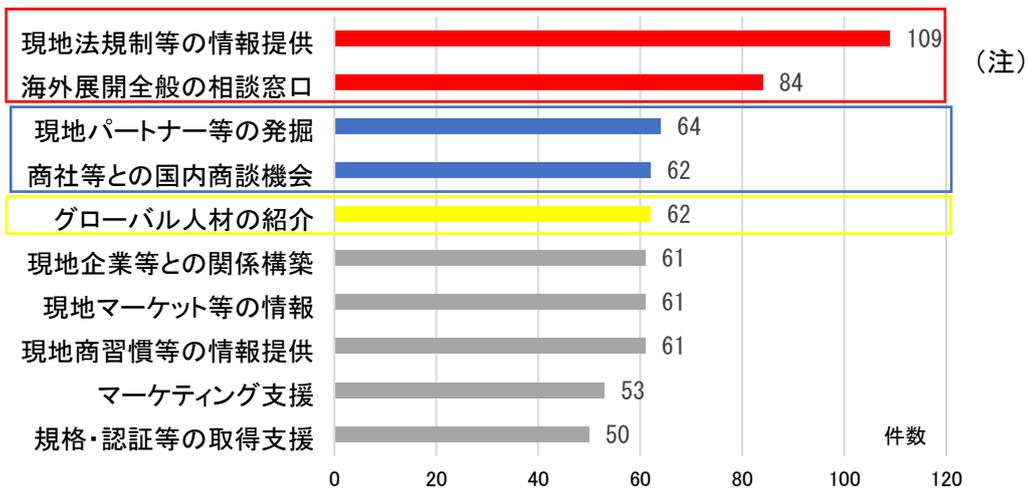
ア 海外展開における課題 N=1,040

- ・海外展開している企業に海外展開における課題を尋ねたところ、「海外現地情報の入手」「現地法規制等への対応」などの課題が上位を占めています。
- ・「現地パートナーの発掘」などビジネスマッチングに関する課題や「グローバル人材の確保」も課題として上位に位置しています。



イ 海外展開において求めている支援 N=991

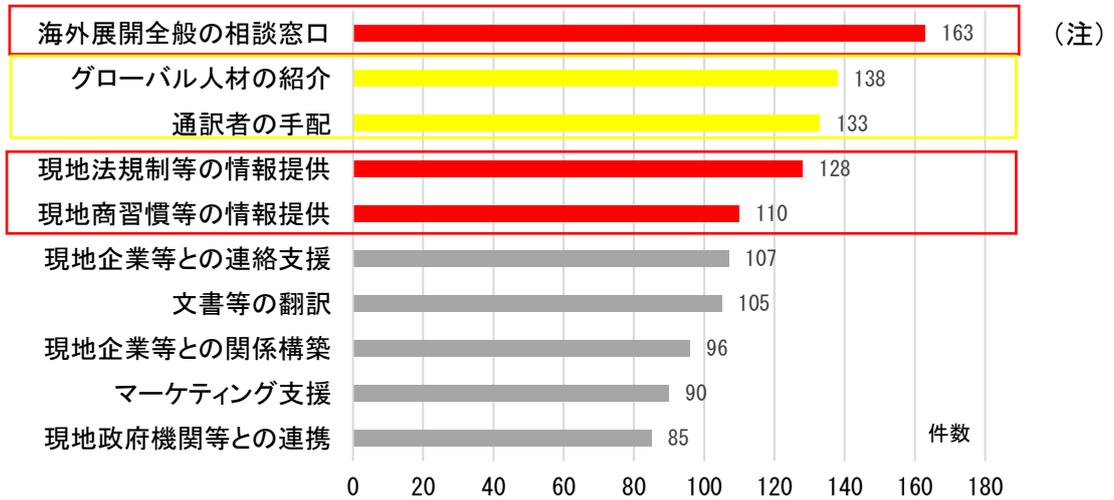
- ・海外展開している企業に求めている支援を尋ねたところ、「現地法規制等の情報提供」「海外展開全般の相談窓口」が上位を占めています。
- ・「現地パートナー等の発掘」「商社等との国内商談機会」などのビジネスマッチングに関するニーズや「グローバル人材の紹介」も上位に位置しています。



- (注) 相談・情報提供に類するもの
- ビジネスマッチングに類するもの
- グローバル人材の紹介等に類するもの

イ 海外展開において求めている支援 N=1,711

- 海外展開していない企業に対して求めている支援を尋ねたところ、「海外展開全般の相談窓口」「現地法規制等の情報提供」が上位を占めています。
- 「グローバル人材の紹介」「通訳者の手配」などの海外とのコミュニケーションに関するニーズも高くなっています。

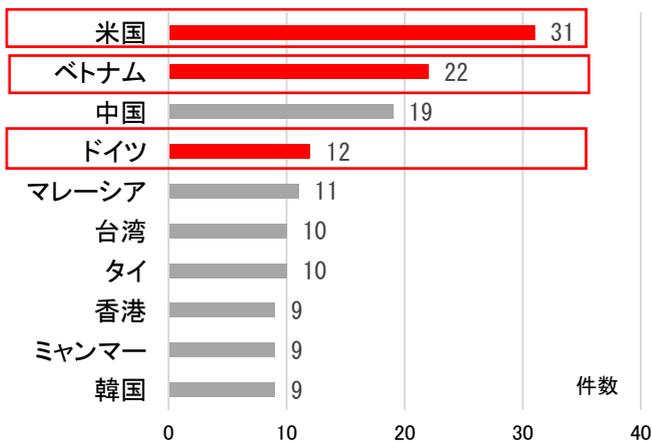


(注) 相談・情報提供に類するもの
 グローバル人材の紹介等に類するもの

ウ 関心のある国・地域

- 海外展開していない企業に関心のある国・地域を尋ねたところ、製造業・非製造業ともに成長性のある「ベトナム」への海外展開ニーズが高くなっています。
- 製造業では、「米国」「ドイツ」などの先進国が上位に位置し、非製造業では「タイ」が上位に位置しています。

製造業 N=196



非製造業 N=244

